

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鳥取市立面影小学校（鳥取県）【指定校】

【取組内容】 調べたことを整理し、自分の意見を論理的に説明する力を高める授業実践

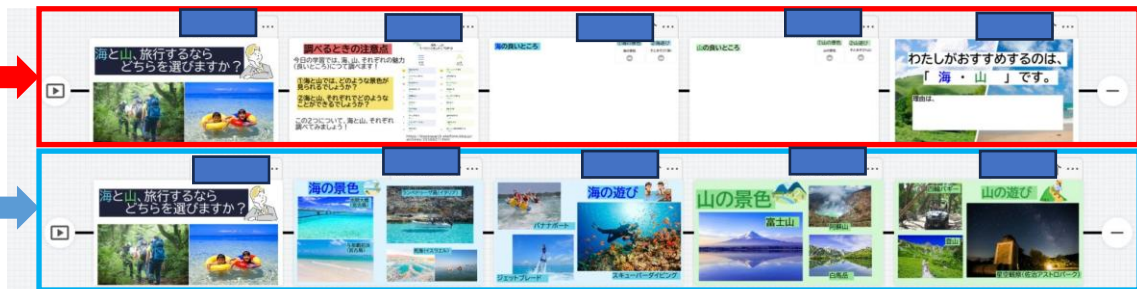
調べ学習で児童に示すもの（準備）

①児童が作成するスライドの『型』

→『型』を示すことで、より多くの児童が学習を進めやすくなった。

②児童に示すスライドの見本

→見本があると、児童が見通しを持って学習に取り組むことができる。



実際の活動（調べ学習）

①山の景色

山の景色



②山遊び

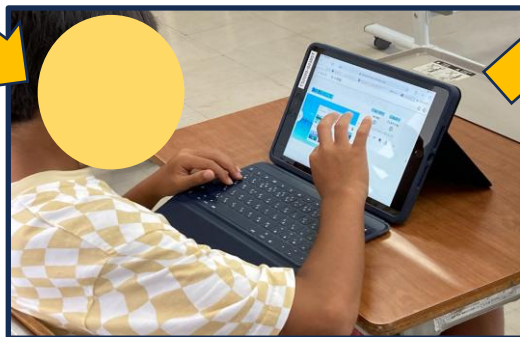
そとあそび(山)



調べ学習の際に参考にするサイトのリンクを児童のスライドにあらかじめ貼り付けておく。

自分で活用できそうなサイトを見つけることも可とし、児童が自分で選択して学習に取り組めるようにした。

活動している時は、児童一人一人が自分のタイミングで見本を参考にしたり、サイトから活用できそうな情報を探したりする。
自分のペースで学習ができるので、児童が意欲的に活動に取り組める。



児童一人一人が自分なりの方法でスライドにまとめていく。まとめたものは、学級の全員が参考にできるようにすぐに共有する。

他者参照で自分の考えをさらに深めることができる。

- タブレットを活用し、児童一人一人に適切な手順を示すことで見通しをもって学習に取り組むことができる。
- 調べ学習で参考にするサイトを提示することで、授業のねらいに沿った学習ができる。
- 調べ学習の際に使用する『型』を示し、作成の過程や完成品を全体で共有することで、児童一人一人が自分のものと比較し参考にしながら、自分の考えを深めることができる。